



2026 年 2 月 13 日

各 位

会 社 名 サン電子株式会社
代 表 者 代表取締役社長 内海 龍輔
(コード：6736 東証スタンダード市場)
問 合 せ 先 代表取締役専務 木村 好己
電 話 番 号 052-756-5981

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は2026年2月13日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、2025年5月15日に公表しました2026年3月期(2025年4月1日～2026年3月31日)の業績予想を下記の通り修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2026年3月期通期連結業績予想数値の修正(2025年4月1日～2026年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 16,247	百万円 1,385	百万円 6,191	百万円 4,296	円 銭 192.90
今回修正予想(B)	10,300	△210	5,500	8,800	399.84
増減額(B-A)	△5,947	△1,595	△691	4,504	—
増減率(%)	△36.6	—	△11.1	104.8	—
(参考)前期連結実績 (2025年3月期)	10,837	1	709	17,228	774.02

2. 修正の理由

2026年3月期の事業環境は、グローバルデータインテリジェンス事業においては、フォレンジックソリューションやインテリジェンスソリューション等に加え、「多元統合型偽・誤情報検出技術の研究開発と実証事業」が総務省に採択された成果が見込まれます。エンターテインメント関連事業においては、主要顧客における遊技機部品等の出荷数量が当初想定を下回り、伸び悩む状況が見られます。IT関連事業においては、通信キャリア各社による3G停波に伴うLTE(4G)への移行需要が一巡いたしました。これに対し、次なる成長軸として注力している5GやエッジAI関連の新商品において、開発および市場投入に遅れが生じた結果、出荷数量が減少する見込みとなるとともに、産業用ネットワークに対するセキュリティ対策に係る開発に時間を要しております。また、M&Aおよび業務提携においては、2025年8月のサイバーコマンド(株)への出資等、戦略的な投資の成果は着実に現れ始めておりますが、現在交渉を進めている複数の案件につきましても、精査および合意形成に当初の想定以上の時間を要しており、当期中の収益寄与が限定的となる見通しです。一方、持分法適用関連会社であるCellebrite社の業績は堅調に推移しています。

以上のような状況を踏まえ、売上高は前回予想を下回り、営業利益は売上の減少に伴い減少を見込み、経常利益は持分法による投資利益の予測に基づき、営業利益に比して減少幅の縮小を見込み、親会社株主に帰属する当期純利益は持分変動利益の計上により前回予想を上回る見通しです。

(注) 上記の予想は、本資料の公表日現在において、入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値とは異なる可能性があります。

以 上